

# Bamboo

## Straight cut coat

\*レギュラー〜ルースフィットで裾までほぼ真っ直ぐのシルエット。

\*丈はショート、ロングの2種類、後ろ中心にベンツあり。

\*袖丈はロング、7/8の2種類からお選びください。

\*前比翼仕立てですが、なしでも作れます。

\*襟はテーラードかラウンドネックをお選びください。

\*ポケットはクラシックな箱ポケットか、簡単に仕立てられるパッチタイプの2種類。

\*裏地パターンも含まれています。

ストレートコート

● バンブー

Waffle\*Patterns



View A

・ ティラードカラー  
・ ロング丈  
・ ロング袖丈  
・ 箱ポケット



View B

・ ラウンドカラー  
・ ショート丈  
・ 7/8袖丈  
・ パッチポケット

## おすすめの素材

ある程度はりのあるコート地全般。  
表地に合った裏地。  
比翼用の布(オプション)

## 材料／附属

### ロング丈

- ・表地140 cm (55") 幅  
- 2.8 m (3.1 yds) サイズ34-40  
- 3.1 m (3.4 yds) サイズ42-48

- ・裏地140 cm (55") 幅  
- 2.2 m (2.4 yds) サイズ34-40  
- 2.8 m (3.1 yds) サイズ42-48

### ショート丈

- ・表地140 cm (55") 幅  
- 2.5 m (2.7 yds) サイズ34-40  
- 2.9 m (3.2 yds) サイズ42-48

- ・裏地140 cm (55") 幅  
- 2.0 m (2.2 yds) サイズ34-40  
- 2.5 m (2.7 yds) サイズ42-48

- ・ボタン(2.2cm / 1")
- ラウンドネック/ロング丈:5
- ラウンドネック/ショート丈:3
- ティラードカラー:3

- ・接着芯

## サイズ

\* インチ寸法は概算です。

### <ヌード寸法>

サイズ	34	36	38	40	42	44	46	48	
バスト	80	84	88	92	96	100	104	110	cm
	31.5	33	34.6	36	37.8	39.4	41	43.3	in
ウエスト	62	66	70	74	78	82	86	92	cm
	24.4	26	27.5	29	30.7	32.3	34	36.2	in
ヒップ	86	90	94	98	102	106	110	116	cm
	33.8	35.4	37	38.5	40.1	41.7	43.5	45.6	in

### <仕上がり寸法>

サイズ	34	36	38	40	42	44	46	48	
バスト	99.5	103.5	107.5	111.5	115.5	119.5	123.5	129.5	cm
	39.2	40.7	42.3	43.8	45.4	47	48.6	50.9	in
ヒップ	99	103	107	111	115	119	123	129	cm
	38.9	40.5	42.1	43.7	45.2	46.8	48.4	50.7	in
着丈	83	83.5	84	84.5	85	85.5	86	86.5	cm
ロング丈	32.6	32.8	33	33.2	33.4	33.6	33.8	34	in
着丈	70.5	71	71.5	72	72.5	73	73.5	74	cm
ショート丈	27.7	27.9	28.1	28.3	28.5	28.7	28.9	29.1	in

\*着丈は背中心での首の付け根から裾までです。

## パターンの準備

・前ページのサイズ表を参照してサイズを選びます。

・パターンを印刷します。データサイズは100%です。拡大縮小せずにプリントしてください。

大きさを確認するには、パターン内のテストスクエア(10 X 10 cm (≈ 4"))の寸法をチェックしてください。

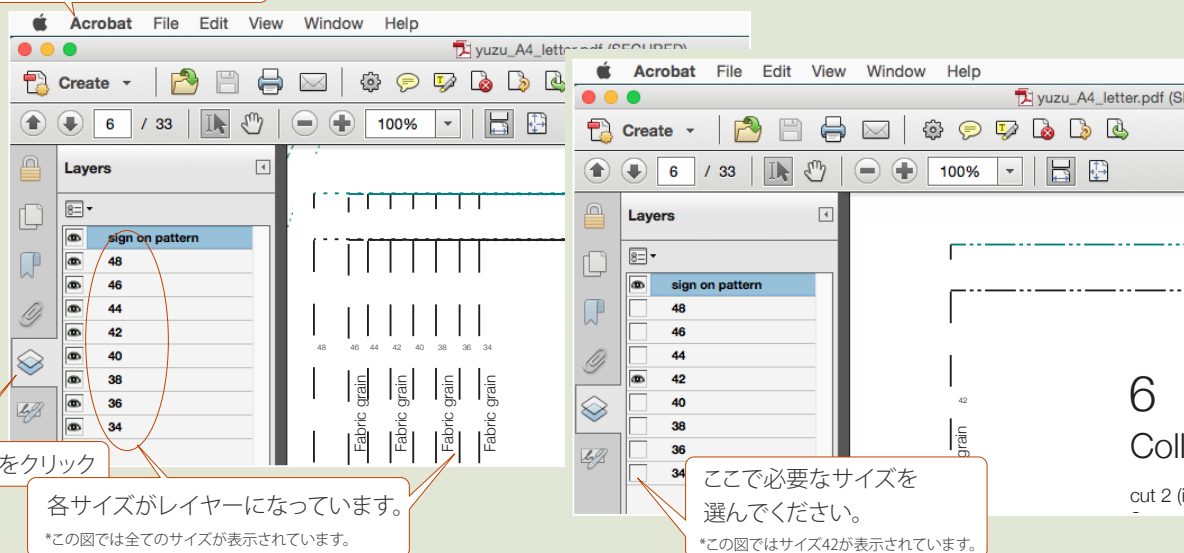
データは家庭用プリンターサイズ (A4/US letter) かコピーショップサイズの2種類からお選びいただけます。

・レイヤーありのpdfデータです。必要なサイズのみ表示・印刷が可能です。

### レイヤーpdfの印刷ガイド

Acrobat Readerで開きます

\* Acrobat Readerのダウンロードリンクはこちら。<https://get.adobe.com/reader/> (\*May. 2016)



・各ページのマージン (枠) をカットします。

・カットしたページを配置図とページナンバーに従って並べ、テープ等でつなぎます。

コピーショップサイズをお使いの場合はこのステップは必要ありません。

・必要に応じてパターンのサイズ補正等を行います。着丈を調整する際は、すべての着丈調整ラインで同じ量を増減させてください。

・パターンをカットします。

\* 出来上がり線と縫い代線の両方を表示しています。 縫い方に合わせてパターンのアウトラインをお選びください。

・デザインオプションを選びます。各デザインのパターン番号はこちらの図を参照ください。

#### ● テイラードカラー

\*前ボディアのテイラードカラー  
ラインをカット

\*襟パターン No.7-8

\*前見返しパターン No.5

\*比翼パターン No.13

#### ● ポケットA

\*パターン No.14-16

斜め箱ポケット

#### ● ロング丈

#### ● ショート丈

\*前後ボディア、前後見返し、  
比翼布の各丈をカット

#### ● ラウンドネック

\*前ボディアのラウンドネック  
ラインをカット

\*前見返しパターン No.4

\*比翼パターン No.12

#### ● ポケットB

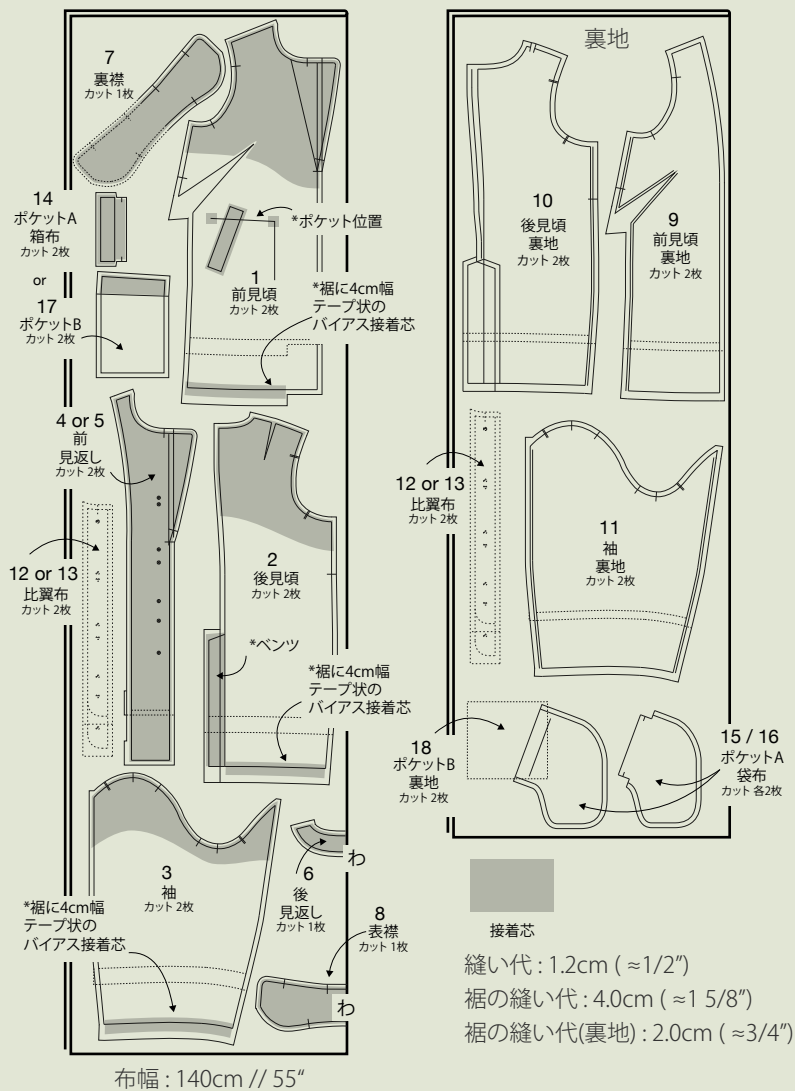
\*パターン No.17, 18  
パッチポケット

#### ● 7/8 袖丈

#### ● ロング袖丈

\*袖の各ラインを選んでカット

## レイアウト / 裁断 / 印付け / 接着芯を貼る



- ・ご使用の布地に応じた地直しをします。
- ・裁ち合わせ図を参考に、布地の上にパターンを配置します。地の目がパターン上の指示と合っているか確認します。
- ・布地を裁断します。チェックやストライプ、大柄のプリント地等をご使用の際は、柄合わせを確認します。
- ・印付けをします(合印、中心線、ポケット位置、ダーツ等)。コピーペーパーやチャコを使用する際は布地の裏側に記します。
- ・裁ち合わせ図上の指示に従って表地の裏側に接着芯を貼ります。ポケット位置の接着芯については各インストラクションを参照ください。

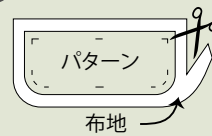
### 比翼布について

お使いの生地によって、表地、裏地のどちらかをお選びください。布の厚みと重なりが出る場所のため、表地が厚い場合は薄めの生地が良いでしょう。表地と比翼布でボタンホールに耐えられる厚みも必要です。ちょうど良い厚みでない場合は接着芯で補強したり、別布を使います。

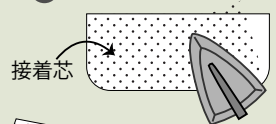
### 上手に接着芯を貼るために

- ・ご使用の布地がアイロンの熱で縮みやすいときは

① 布をパターンより大きめにカット。



② 全面に接着芯を貼付。



③ パターン通りにカット。



\*えりや見返しなどの接着に適しています。

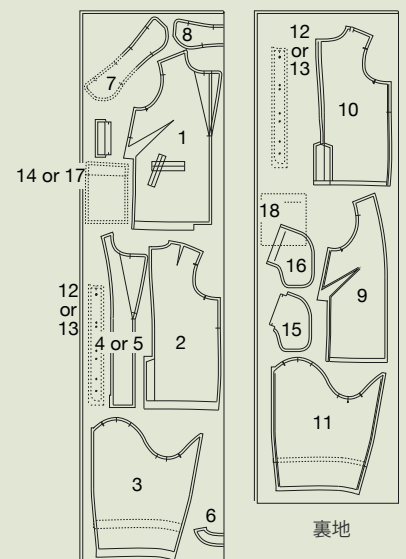
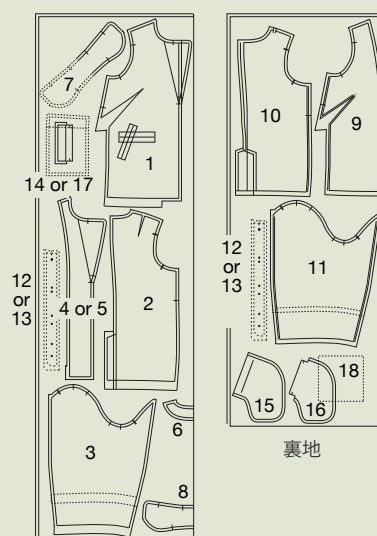
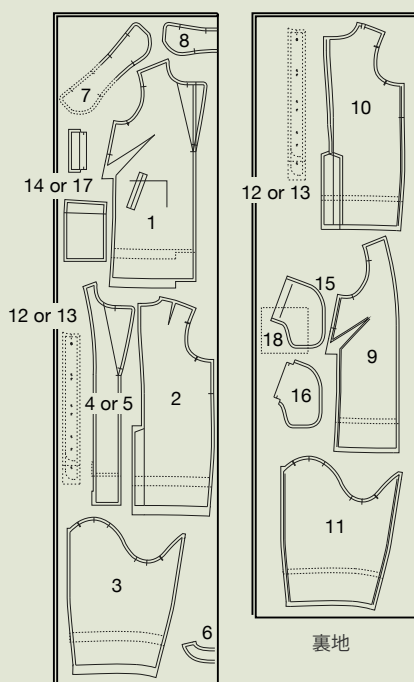
- ・表地に合った接着芯を選びます。判らないときは20cm四方程度の布で試し貼りをして確認します。

サイズ42-48の  
裁ち合わせ図

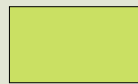
ショート丈の裁ち合わせ図

サイズ34-40

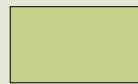
サイズ42-48



## 凡例



表地 表面



裏地 表面



表地/裏地 裏面

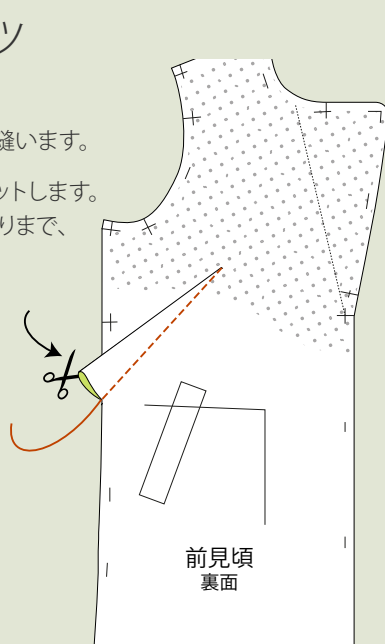


接着芯

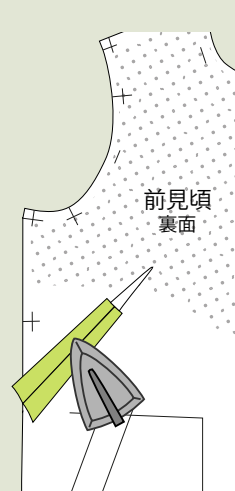
## 見頃 / ダーツ

① 前見頃のダーツを縫います。

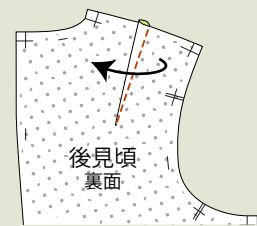
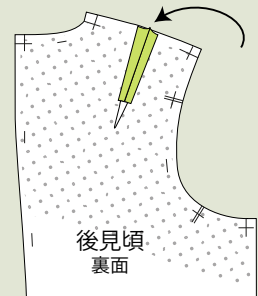
② ダーツの中央をカットします。  
カットできるぎりぎりまで、  
だいたいダーツの  
2/3の長さです。



③ 縫い代を開きます。



④ 反対側と後見頃のダーツも同じように  
仕上げます。\*カットしづらい生地の場合  
は中心側に倒します。

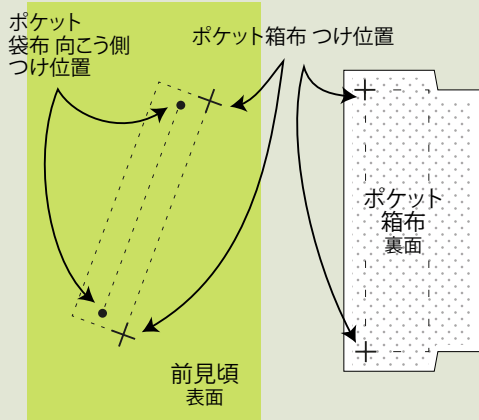


## 箱ポケット -ポケット A-

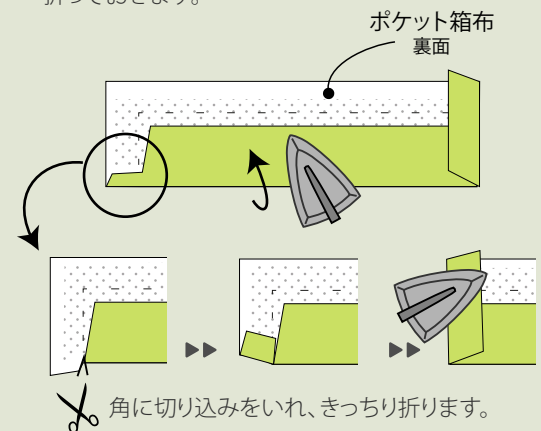
\*ポケットBの場合はこの工程はスキップしてください。

\*イラストは右側のポケットを示しています。

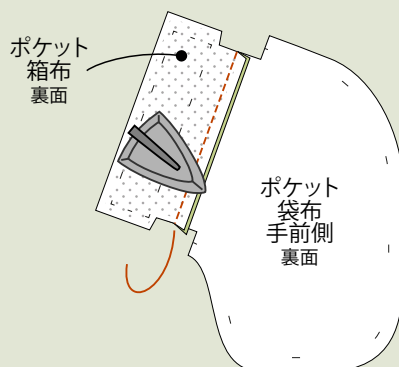
① ポケットパーツと前身頃ポケット位置の  
合い印を確認します。



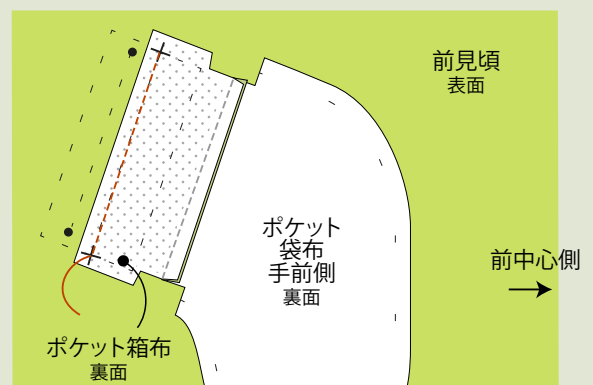
② 箱布を図のように出来上がりの形にあらかじめ  
折っておきます。



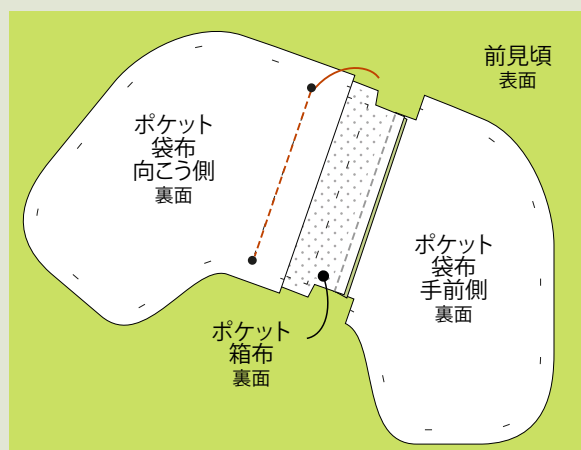
③ 箱布につけた折り目を開き、袋布(手前側)と合印どおしを  
合わせ中表に縫い合わせます。  
縫い代は袋布側に倒します。



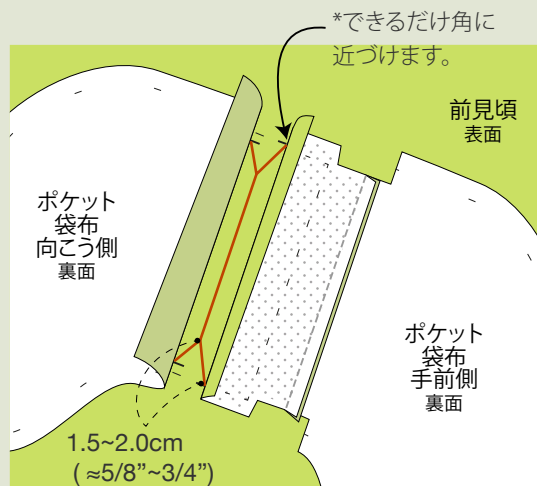
④ 箱布を前身頃に中表に配置します。つけ位置どおしを  
合わせ、印の間を短い針目で縫います。



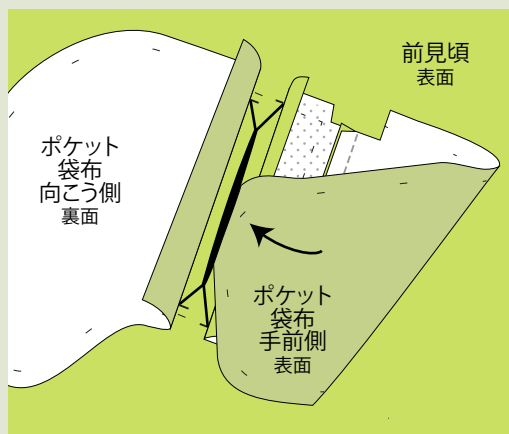
- ⑤ 袋布(向こう側)も前身頃に中表に配置します。  
つけ位置とおしを合わせ、印の間を縫います。



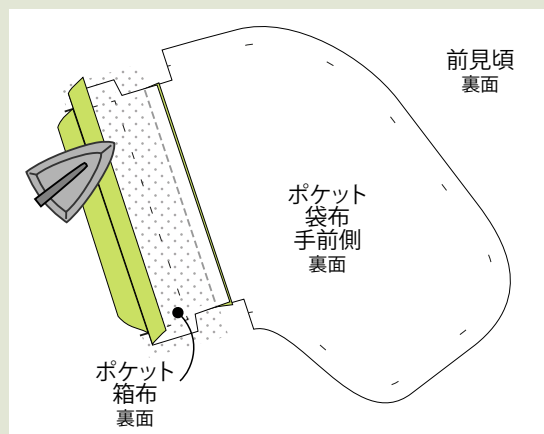
- ⑥ ポケット布をめくり、見頃の生地に図のように切り込みを入れます。



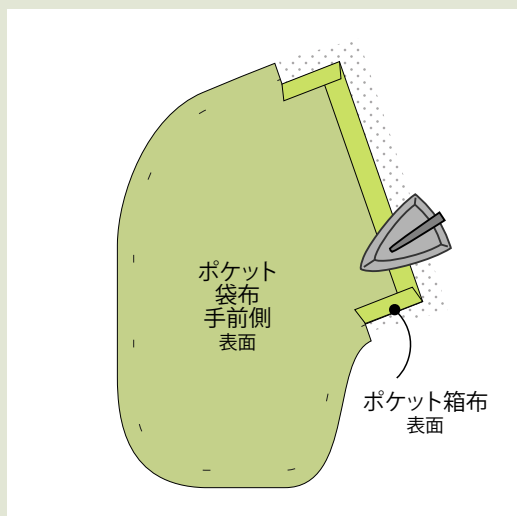
- ⑦ ポケット袋布(手前側)と箱布を切り込みを通して前見頃の裏側に引き出します。



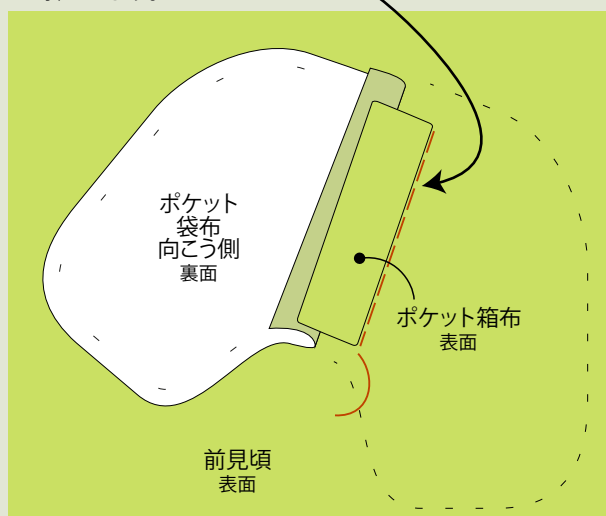
- ⑧ 裏に返し、内側の縫い代を開きます。



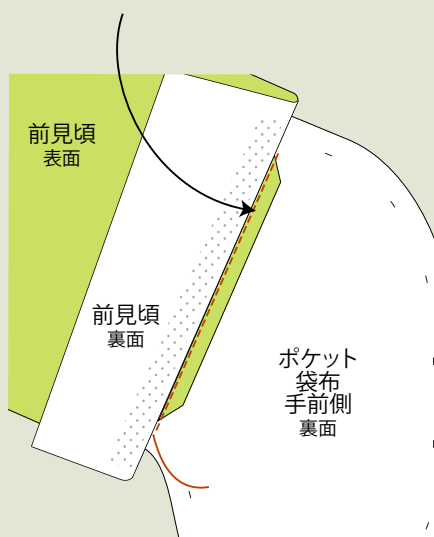
- ⑨ 箱布を出来上がりに折ってアイロンで形を整えます。



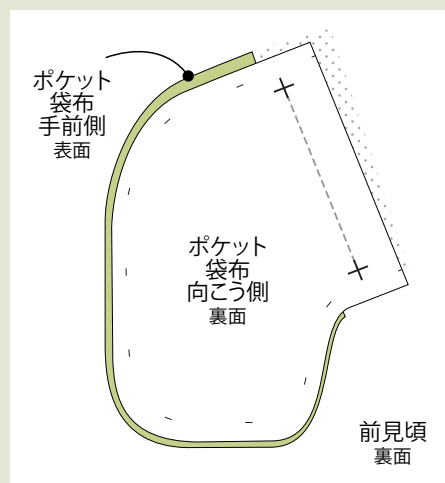
- ⑩ 箱布部分を表に引き出し、付け位置のすぐ下をしつけて押さえます。



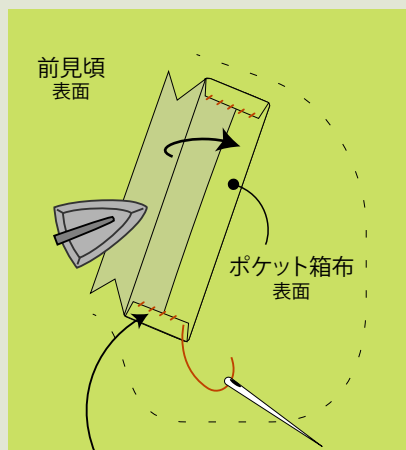
11 見頃をめくり、箱布の縫い代のキワにミシンをかけます。



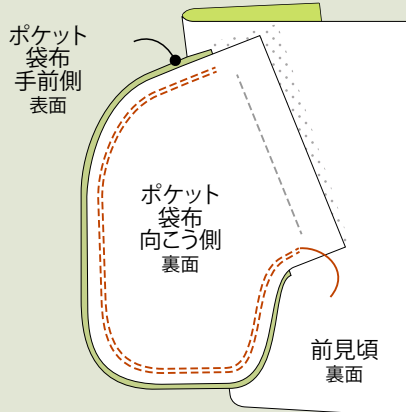
12 ポケット袋布(向こう側)を前見頃の裏側に引き出し、袋布(手前側)に重ねます。



13 箱布をよけ、下のポケット口の形を整えます。

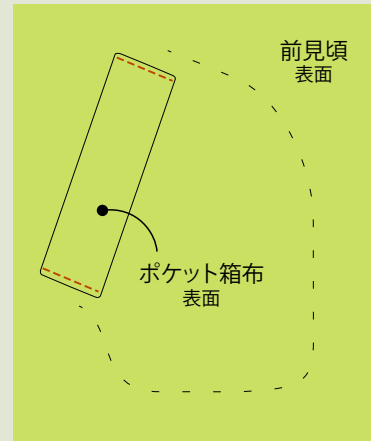


15 手前と向こうのポケット袋布のふちを2度縫いします。



\*布の厚み分のため、袋布がぴったり重ならない場合があります。その際は、無理せずにシワが出ないように自然に重ねて縫ってください。

16 箱布の両サイドを表からステッチで押さえます。



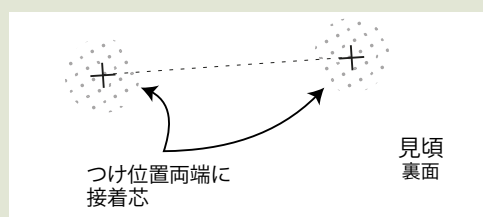
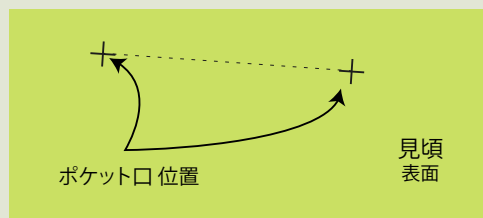
14 箱布の両側の縫い代をまつり縫いします。

17 反対側のポケットも同じように仕上げます。

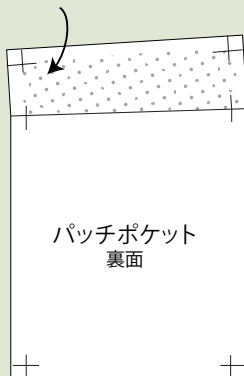
\*イラストは右側のポケットを示しています。

## パッチポケット -ポケット B- \* ポケットAの場合はこの工程はスキップしてください。

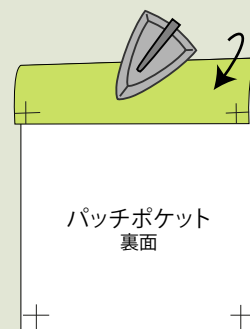
1 身頃ポケット口位置の合い印と、裏側の接着芯を確認します。



ポケット口に接着芯



2 縫う前にポケット口を出来上がりに折っておきます。





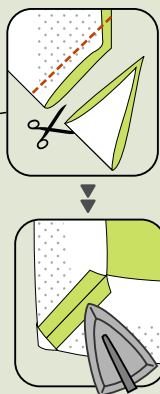
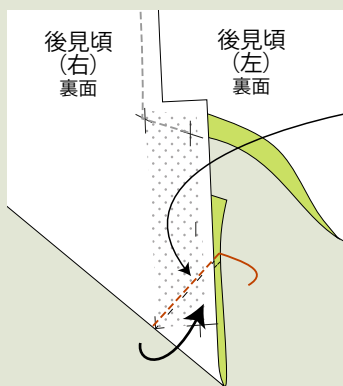
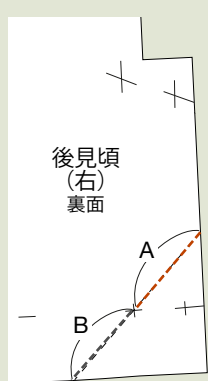
- 3** 折り目を開きます。  
パッチポケットの表地と裏地の  
上端どおしを中表に合わせ  
縫います。  
縫い代は裏地側に倒します。
- 4** 中表に折り、周囲を縫いますが、  
5-6cm縫い残し、返し口にします。
- 5** 角を切り落とします。
- 6** 返し口から表に返します。
- 7** アイロンで形を整えます。
- 8** ポケットを見頃のポケット位置に配置し、  
周りを表からステッチで押さえます。
- 9** 反対側も同じように仕上げます。
- \*裏地が表から見えないように  
控えるため、裏地は1~2mm  
小さめになっています。
- \*ポケット口の両脇は図の  
ように三角に縫って補強  
します。
- 

## 後見頃 / ベンツ

\*ベンツ無しで仕立てる場合はこの工程はスキップし、後中心を下までまっすぐ縫ってください。

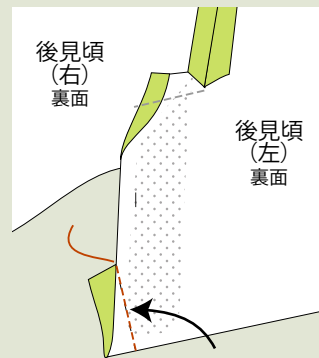
- 1** 裾とベンツ部分をあらかじめ図のように  
折っておきます。
- 2** 折った部分を一旦開きますが、後見頃左の  
ベンツ部分は折ったままにしておきます。  
そのまま左右を中表に合わせ、ベンツの  
印まで縫い合わせます。
- 3** ベンツの印まで  
切り込みを入れます。
- 4** 縫い代をアイロンで開きます。
-

- ⑤ 裾を中表に折って斜めの縫い線同士を合わせ縫います。  
\*図のようにAとBを合わせて線に沿って縫います。

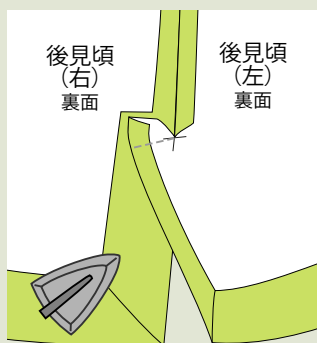


- ⑥ 縫い代をカットし、開きます。

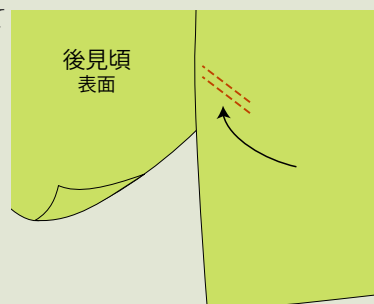
- ⑦ 左裾側も同じように仕上げます。  
\*図のようにAとBを合わせて線上を縫います。



- ⑧ 表に返し、アイロンで裾の形を整えます。



- ⑨ ベンツの端を斜めに縫って補強します。



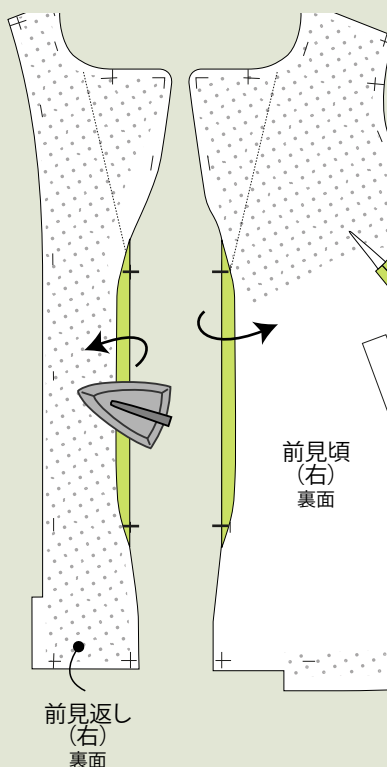
## 比翼開き

\*比翼無しで仕立てる場合はこの工程はスキップしてください。

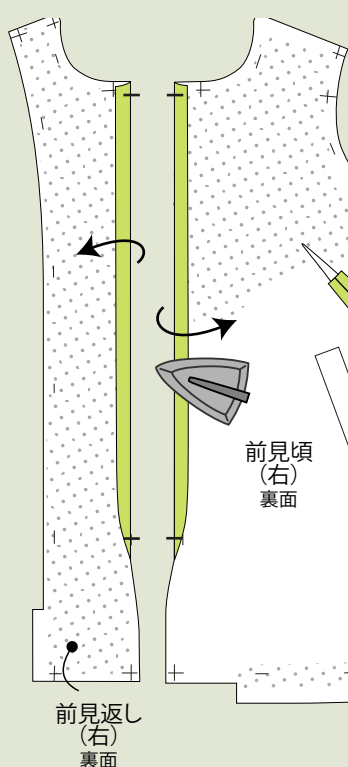
- ① 前身頃と前見返しの前端部分をあらかじめ図のように出来上がりに折っておきます。  
\*比翼仕立てになる右見頃側の比翼の合い印の間になります。

- ② 折った箇所を一旦開き、見頃と見返しの上に比翼布を中表に配置します。  
合い印の間を縫い代10mmで縫い合わせます。

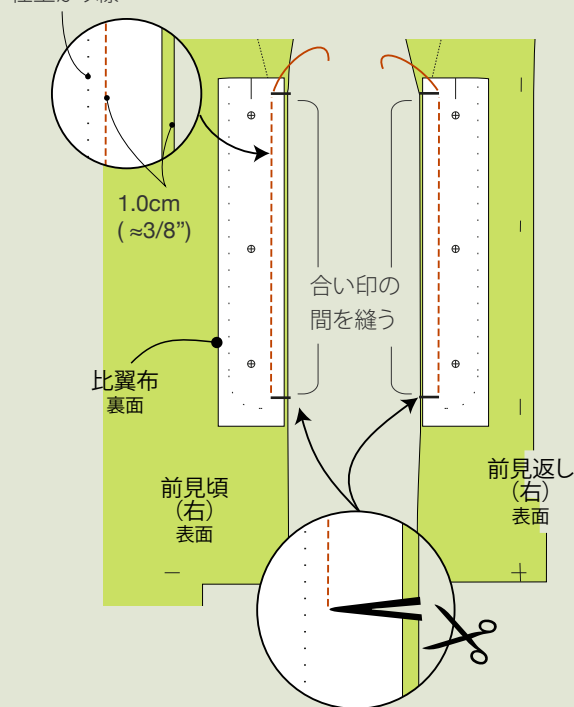
\*ティラードカラー



\*ラウンドネック



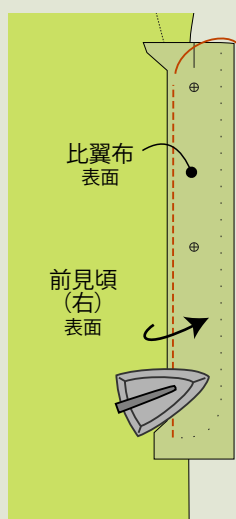
仕上がり線



- ③ 縫い線の両端に図のように切り込みを入れます。

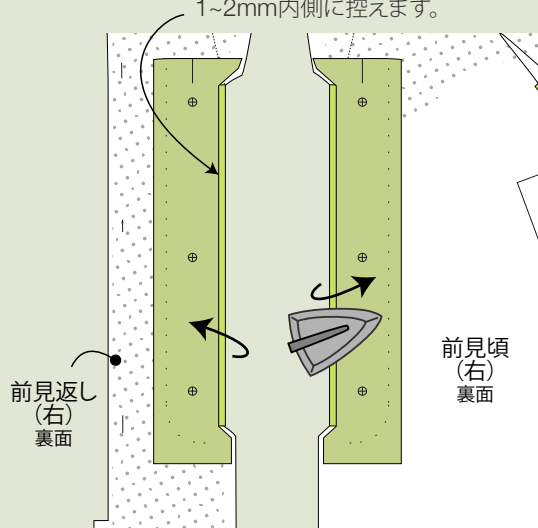


- ④ 身頃側の比翼布を図のように倒し、比翼側を端ミシンします。

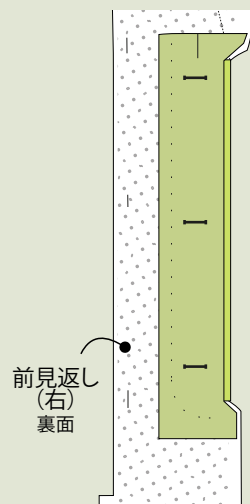


- ⑤ 前端を出来上がりにおり、アイロンで整えます。

\*比翼布が表から見えないように1~2mm内側に控えます。



- ⑥ パターンの位置を参照し、見返しにボタンホールを作ります。



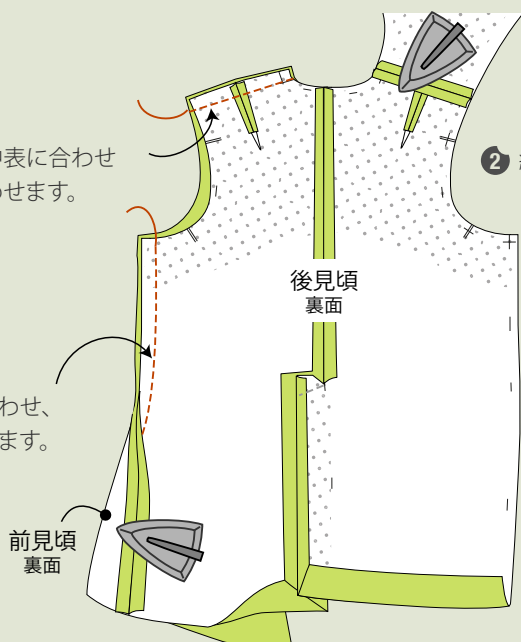
\*後で見頃に取り付けます。

## 身頃

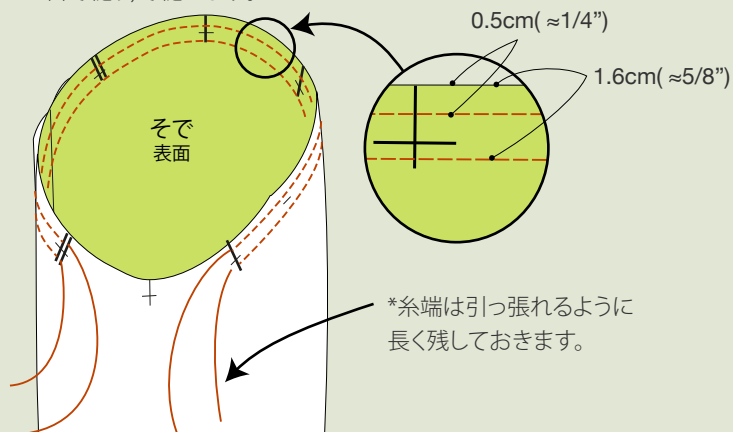
- ① 前後見頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。

- ② 縫い代を開きます。

- ③ わきも縫い合わせ、縫い代を開きます。

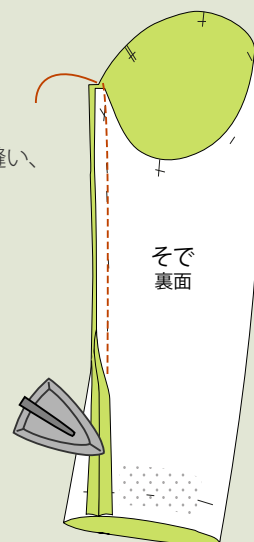


- ② そで山の合い印の間を下記のステッチ幅でしつけします。  
\*手でぐし縫いするか、粗ミシン(上糸の調子を緩めにし粗いミシン目で縫う)で縫います。

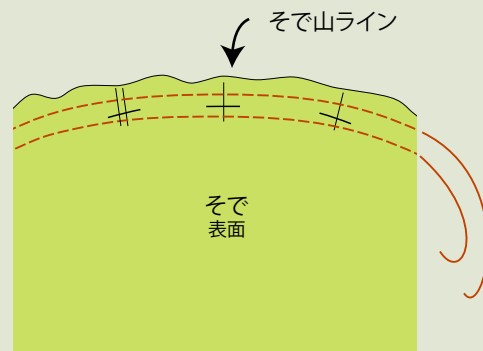


## 袖

- ① 袖を中表に折って縫い、縫い代を開きます。



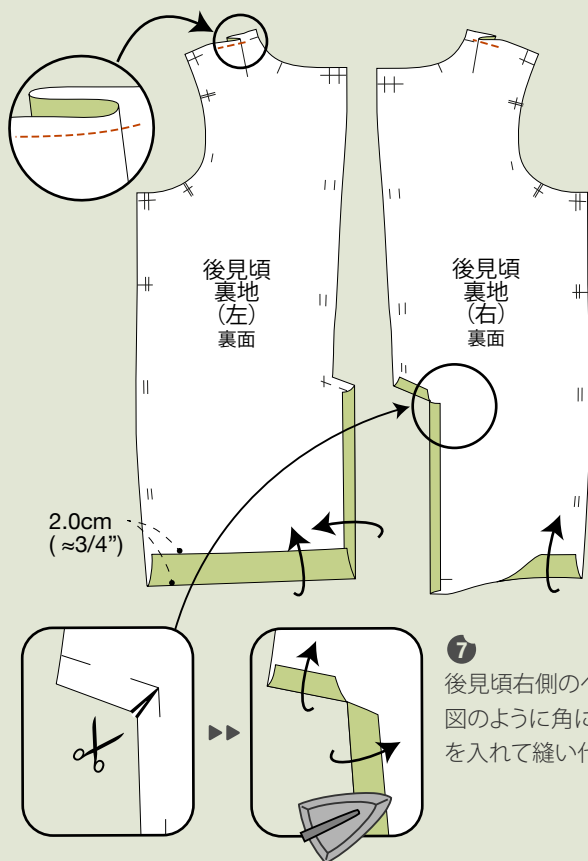
- ③ しつけ糸を引き、アームホール寸法に合わせていせ\*ます。



\*いせとはギャザーにならない程度の布の余裕です。立体感をだし、体にフィットさせるためにそで等に使われます。



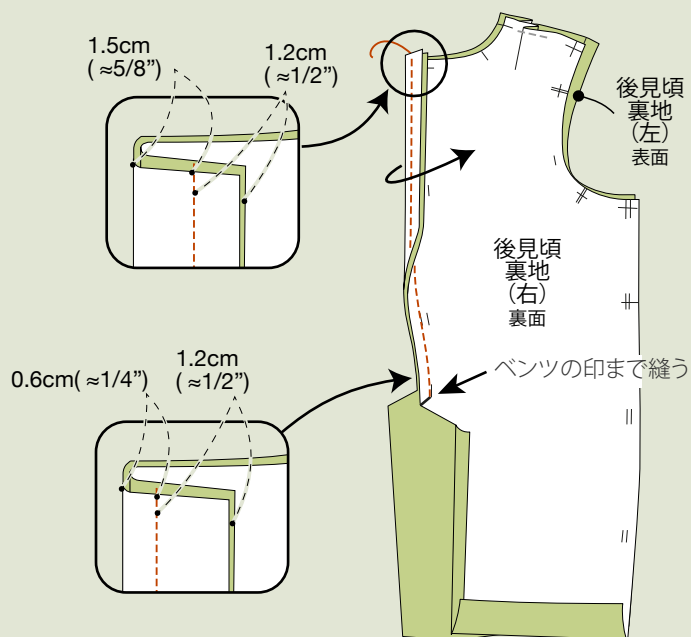
- ⑥ 後見頃の肩のプリーツも印どおりに折り、しつけします。  
裾とベンツ部分は図のように折ります



- ⑦ 後見頃右側のベンツは図のように角にスリットを入れて縫い代を折ります。

- ⑧ 左右の後ろ身頃の裏地どおしを中表に合わせ後中心をベンツどまりまで縫います。

- ⑨ 縫い代を図のように折り、きせ\*をかけます。

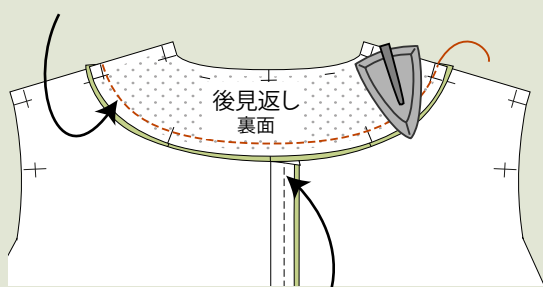


\*後中心の上部は1.5cm(≈5/8")程度、ベンツ付近は0.6mm(≈1/4")程度折り、途中は自然につなげます。

\*表地の伸びや体の動きについていけるように裏地のパターンは表地より部分的に大きくなっています。  
このような小さなプリーツ(きせ)でゆとりを作ります。

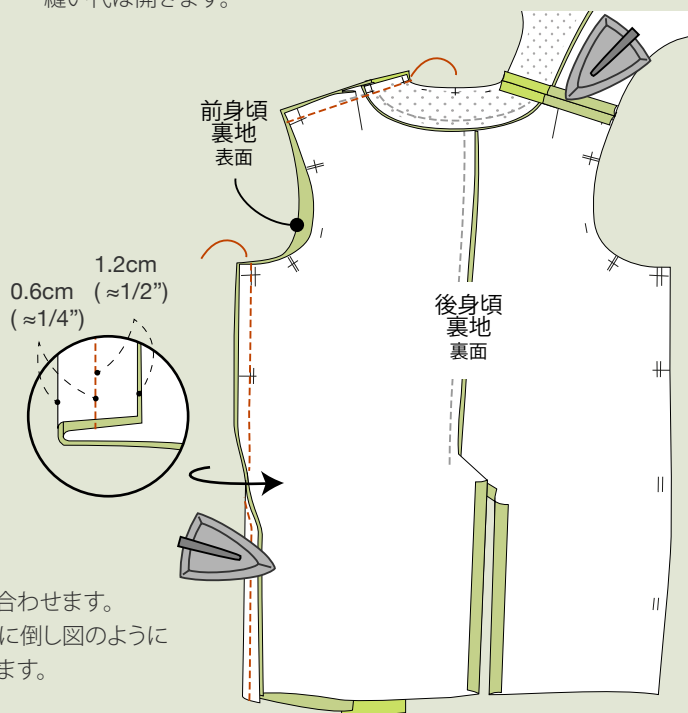
\*ベンツ無しで仕立てる場合はこの工程はスキップし、後中心を下までまっすぐ縫ってください。

- ⑩ 後見頃と後見返しを中表にあわせ、縫い合わせます。縫い代は下側に倒します。



\*きせは開かないようにします。

- ⑪ 裏地の前後見頃を中表に合わせ肩を縫い合わせます。  
縫い代は開きます。



- ⑫ わきも縫い合わせます。  
縫い代は後に倒し図のようにきせをかけます。

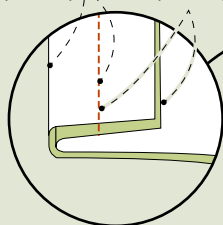
13

表地と同じように袖を縫い合わせます。縫い代は内側に倒し図のようにキセをかけます。

表地と同様に、そで山の合い印の間をしつけします。

0.6cm  
( $\approx 1/4"$ )

1.2cm  
( $\approx 1/2"$ )



14 そで口を図のように折り上げます。

17 表地と同様に表襟を裏地の見頃に付けます。

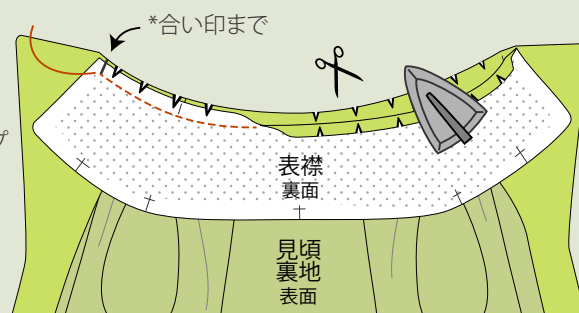
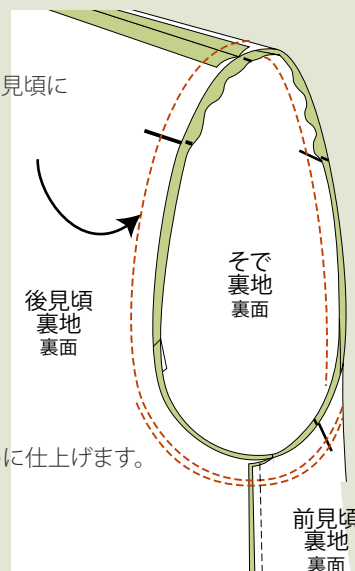
\*ラウンドネックの場合はこの工程はスキップしてください。

15

表地と同様に袖を見頃に付けます。

16

反対側も同じように仕上げます。



## 裏地/表地をつなげる

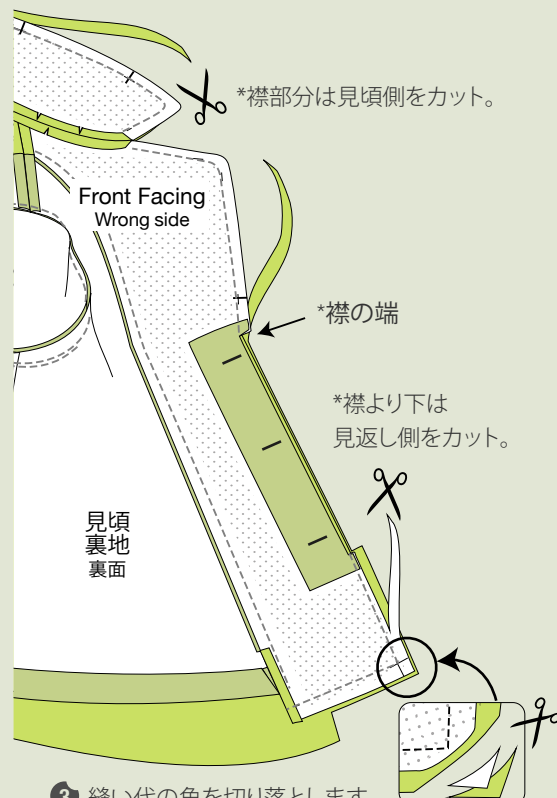
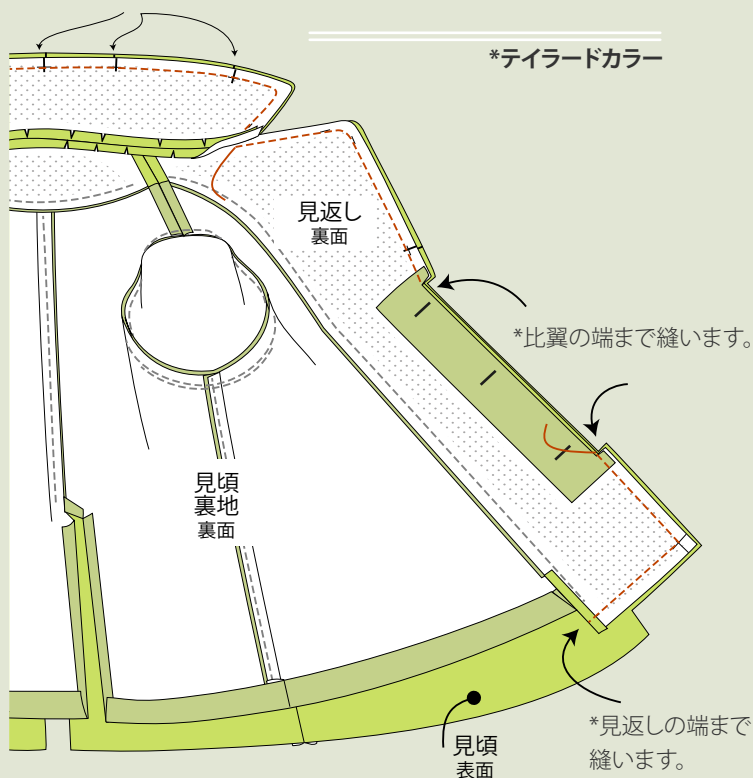
1

表地と裏地のついた見返しを中表に合わせます。  
前端と襟のラインを別々に縫います。

2

縫い代を0.6 cm ( $\approx 1/4"$ ) カットします。

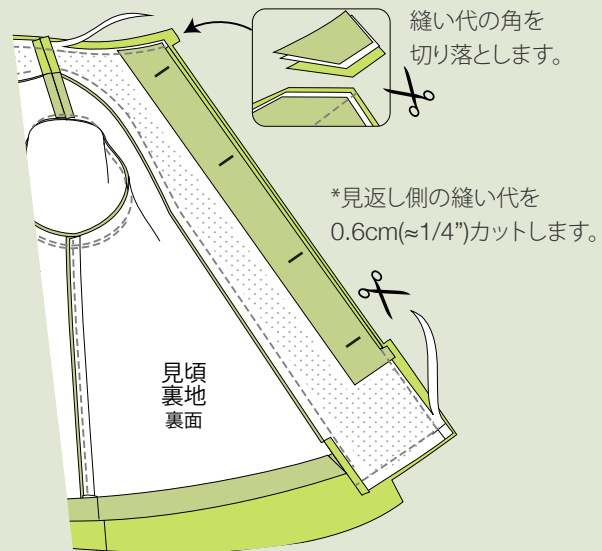
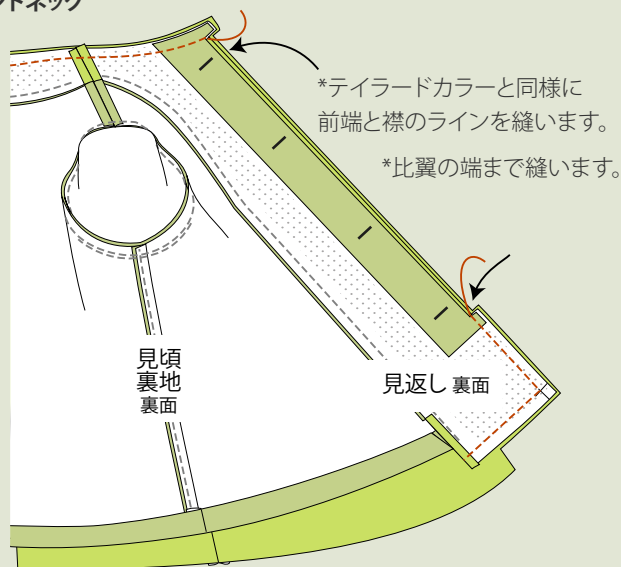
\*合印同士を  
合わせます。



3

縫い代の角を切り落とします。

### \*ラウンドネック



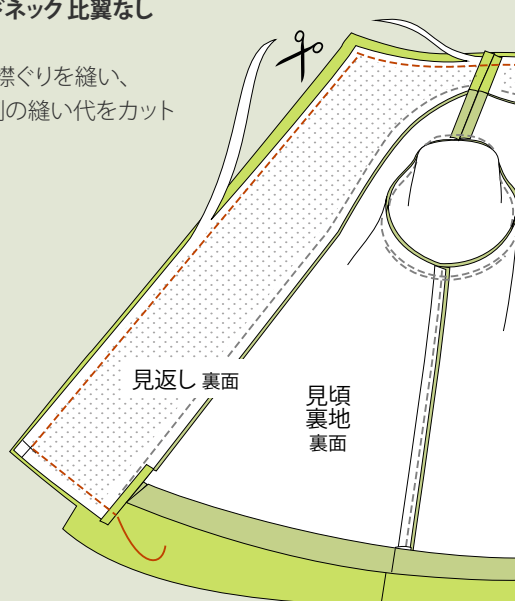
### \*テイラードカラー 比翼なし

\*前端と襟のラインを別々に縫います。  
\*縫い代を0.6 cm (≈1/4") カット  
しますが、襟部分は見頃側、  
襟より下は見返し側をカット  
します。



### \*ラウンドネック 比翼なし

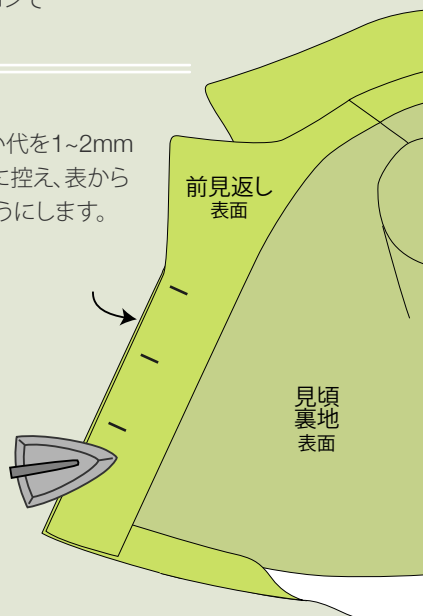
\*前端と襟ぐりを縫い、  
見返し側の縫い代をカット  
します。



④ 表に返し、アイロンで  
形を整えます。

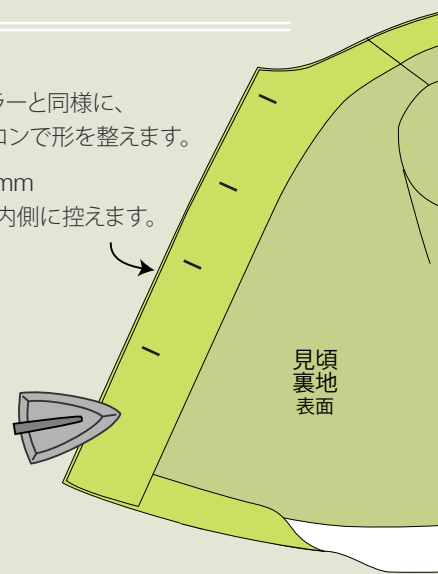
### \*テイラードカラー

\*襟の端より下は縫い代を1~2mm  
(1/32"~1/16")内側に控え、表から  
見返しが見えないようにします。



### \*ラウンドネック

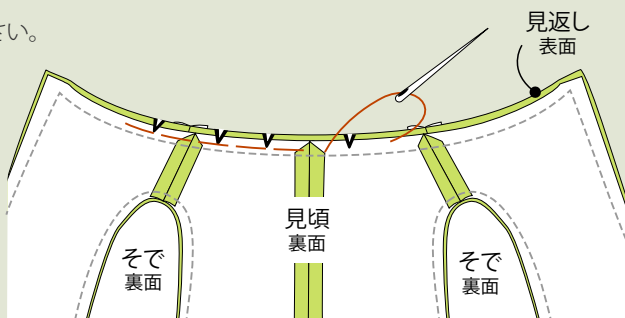
\*テイラードカラーと同様に、  
表に返し、アイロンで形を整えます。  
\*縫い代を1~2mm  
(1/32"~1/16")内側に控えます。



## 襟ぐりを中とし

\*ラウンドネックの場合はこの工程はスキップしてください。

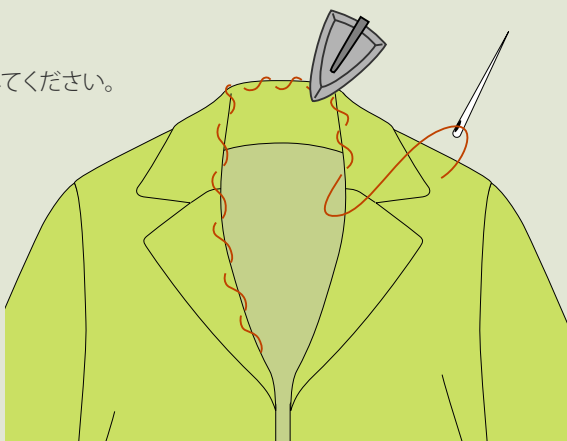
- 1 裾から裏返し、見頃と見返しのネックラインどおしをつき合わせます。見頃の外側の縫い代と、見返しの外側の縫い代どおしを縫って固定します。



## 襟を整える

\*ラウンドネックの場合はこの工程はスキップしてください。

- 1 襟を折り曲げて形を整えます。折り線に沿って巻きじつげをします。
- 2 アイロンで形を整えます。当て布をして軽くアイロンするか、スチームを当てます。



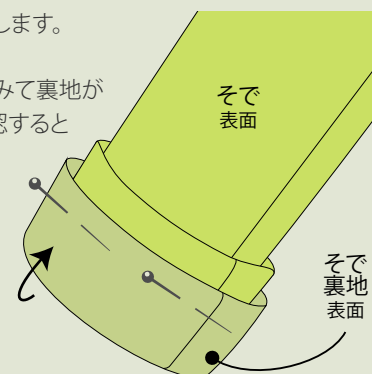
## そで口

- 1 表地と裏地を重ね合わせます。表地のそで口をまくって、裏地を引き出します

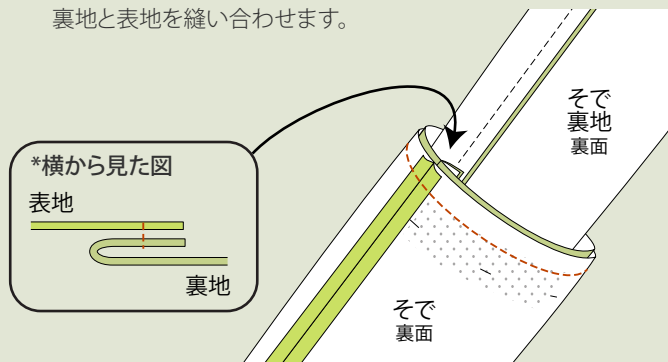


- 2 裏地もまくって、表地に重ね、縫い合わせる場所にピンで2-3箇所仮止めします。ピンは後で打ち直します。

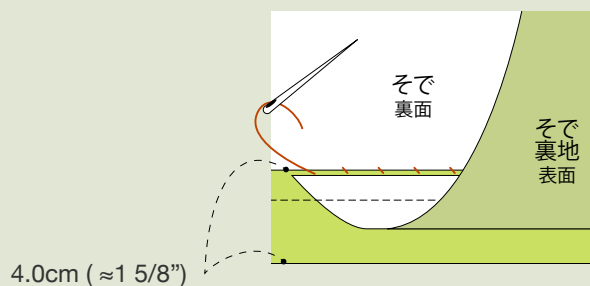
\*一旦そでを通してみて裏地がねじれてないか確認すると良いです。



- 3 身頃の裏地と表地の間から手を入れて袖口を引き出します。裏地とカフスをピンで止め直します。縫い代1.0cm (3/8") で裏地と表地を縫い合わせます。



- 4 そで口をあげ、まつり縫いします。反対側の袖も同様に仕上げます。



\*この方法でそで口を始末する場合は、裾を閉じる前に仕上げます。



## 裏地/裾の始末/ステッチ

① 表に返します。

\*縫っている間に身頃が布の重さで伸びている場合があります。実際に着てみたり、ボディに着せたりして確認し、不自然なしわなどが出ないように調整しながら裾を上げます。

\*ステッチをかけない場合は、身頃と見返しの間をまつり縫いして固定します。

④ 前端・襟ラインに表からステッチをかけます。

\*比翼の上はステッチしません。

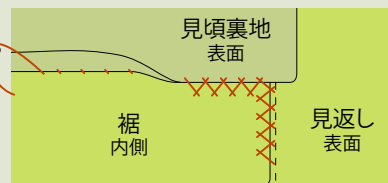
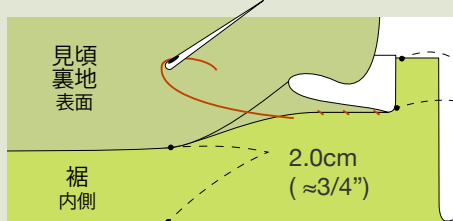
② 裾を折って縫い代を図のようにカットします。

裾の折り線

③ 裾をあげ、まつり縫いします。

4.0cm  
( $\approx 1 \frac{5}{8}$ " )

⑤ 裏地の裾をまつり縫いで表地の裾に固定します。



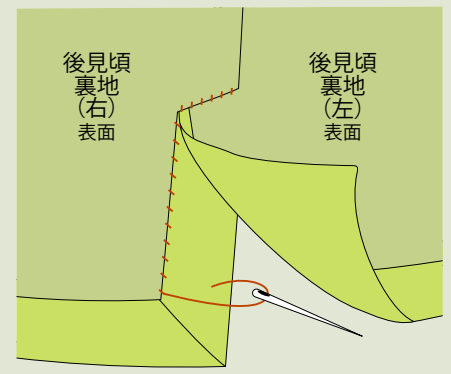
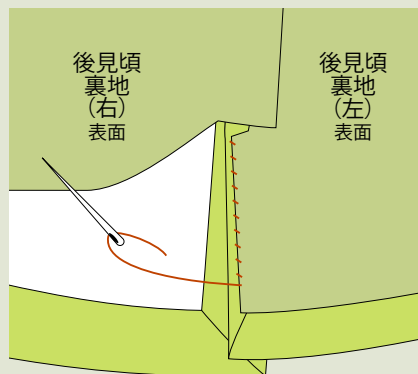
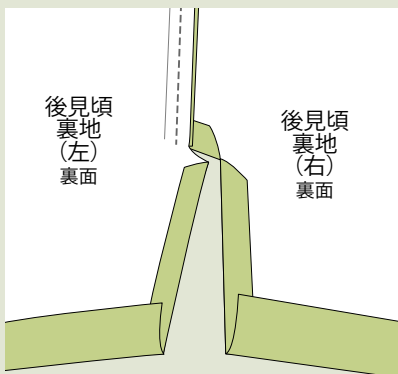
\*見返しまわりは千鳥がけにするときれいです。

## パンツ部分の裏地

\*裏地はこのように折られている状態です。

① 左側のパンツの縁をまつり縫いします。

② 右側のパンツの上端、縁をまつり縫いします。



## 比翼 / ボタン

- ① パターンのガイドラインを参考にして、  
比翼の端に表からステッチをかけます。



- ② パターンにしたがってボタンをつけます。

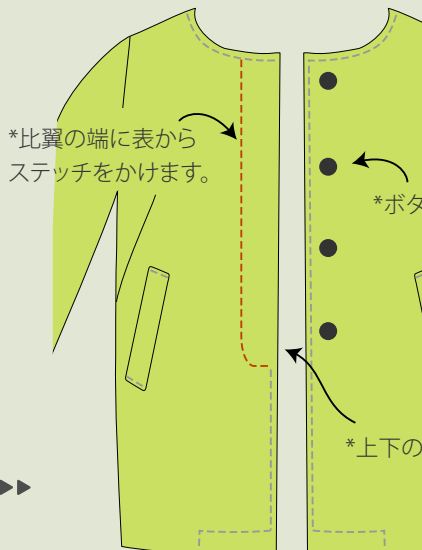
- ③ ボタンホールとボタンホールの間を図のように  
短く縫い(3mm - 1/8"程度)、上下の比翼を固定します。

### \*ラウンドネック



\*比翼の上は  
ステッチしません。

見返しの端まで  
ステッチします。



\*比翼の端に表から  
ステッチをかけます。

\*ボタンをつけます。

\*上下の比翼を固定します。

出来上がり!

このパターンで作られたお洋服のお写真をぜひ  
シェアください! ツイッターやインスタグラム等  
ではタグ #wafflepatterns をお忘れなく。  
ウェブやブログで公開される場合はWaffle Patternsの  
アドレスを明記いただけると嬉しいです。

Yuki

SHOP [wafflepatterns.com](http://wafflepatterns.com)

Etsyでは日本語でお買い物していただけます  
[etsy.com/shop/WafflePatterns](https://etsy.com/shop/WafflePatterns)

BLOG [blog.wafflepatterns.com](http://blog.wafflepatterns.com)

日本語ブログ : [jp.wafflepatterns.com](http://jp.wafflepatterns.com)

@yuki\_wafflepatterns

@Wafflepatterns

waffle-patterns

yuki @ waffle patterns

waffle patterns